

# りそな一れ

2

2024  
February

特集

## DX時代を生き抜くデータドリブン経営

DX推進に欠かせないデータドリブンの必然  
データドリブンな中小企業のリアル



TOPの決断

三進金属工業株式会社 **新井宏昌氏**

「ペーパーレスになっても『モノレス』にはならない。だから、モノがある以上、  
当社は未来永劫続くということで『百年企業』をスローガンにしています」



# TOP の決断

三進金属工業株式会社  
代表取締役社長

## 新井宏昌氏

ARAI Hiromasa

2022年8月



東京支社のビルの購入は、大決断でした。  
これをやったことが、前期の281億という数字にも  
つながったと思います。

写真／高田ますみ(P3、P5下)

倉庫などで使用する産業用スチールラックのトップメーカー。空間活用を最大限に効率化する「スペースコントロール」を掲げ、スチールラックを中心とした物流保管機器「HARDY RACK」、植物工場・実験/研究設備「HARDY SCIENCE」、ソーラー架台や立体駐車場などの建築・構造物製品「HARDY STR」の三つのブランドで、開発、設計、製造、販売、設置、メンテナンスなどを一貫して自社で行う機能を持つ。

聞き手／りそな総合研究所代表取締役社長 米谷高史



御社は近年、非常に業績が堅調だとお伺いしております。

**新井** リーマン・ショック以降価格競争が厳しくなり、ものすごく大変だった時期が2年半ぐらい続きました。そんな時3・11の東日本大震災が来て、福島に工場のある当社は、これとどめを刺されたかと天を仰ぎました。ところが、震災でサプライチェーンが混乱した結果、東西両工場を持って供給能力が抜群に高く、厳しかった時期でも全国の営業拠点を閉鎖しなかった当社の強みが見直され、そこからずっと右肩上がりです。

震災以降、国内外のeコマース大手が大型の倉庫を新設する動きが続き、そこに大量のラックを供給できたのも大きかったと思います。その後のコロナ禍で、eコマースがさらに売上げを伸ばしたことも追い風になりました。

**シャーリング加工メーカーとして創業。スチールラックの棚板に進出し、「袋箱形状」など独自の技術で成長**

御社は、1964年(昭和39)に新井正準会長がご創業され、もともと鋼材のシャーリング加工をされていたそうです。

**新井** はい。会長から聞いているのは、当時は手形の不渡りが多く、それに備えるためにも、利益率の高い付加価値のあるものを作らなアカンということ、いろいろな加工を手掛けた



電動式移動ラック「タナコン」



書架は、スチールのほか木製も扱っている



橋梁恒久足場用アルミ押出形材ルーバーパネル「ノンスルーPS」

ようです。ただどれもうまくいかず、行き着いたのがラックの棚板でした。同業他社も簡単にできる柱とかで応援してくれましたが、手のかかる棚は任せると。でも、それがありがたいことに、当社の技術力の基盤となり、飛躍の元になったわけです。

その後、自動化ラインを作られたということですが、どのあたりを自動化されたのですか。

**新井** 全部です。当社はそれ以前に、棚板の前後の縁を角パイプ状に折り曲げて、薄い鋼材でも強度が出せる「袋箱形状」(特殊カール加工)を開発していましたが、その加工も含め20工程ぐらいをすべて自動化しました。この袋箱形状は他社がまねできず、大きな強みとなりました。

その頃から研究開発部門はあったのですか。

**新井** 当時はもう走りながら、現場でやるような感じでした。その後の大きな転機となったのは、平成に入ってから、老舗の電動移動ラックメーカーが経営不振に陥ったことです。それで、そのメーカーの人材の半分を当社が受け入れ、ずっとやりたかった電動の移動ラックを作れるようになりました。2017年(平成29)には、「移動ラックはSANSHIN」で商標登録も取得しています。

それは、巡り合わせかもしれませんね。

**新井** 世の中って、そういうものなんです。しかも会長は、そういう巡り合わせを必ずつかむんです。



## 福島工場を得て東西2拠点体制を構築。

### トップメーカーの地位を獲得し

### 「百年企業」「300億企業」へ

福島工場というのは、どういう経緯で作られたのですか。

**新井** 1989年のバブルの時に、大阪だけでは生産が間に合わなくなり第2拠点を設けようという話が出てきました。競合他社は、たいてい三重とか滋賀とか、通いやすいところを選ぶんですけども、当社の会長は「うちのトラックの半分は東へ行っている。東京のど真ん中に作るぐらいに考えろ」と。それで最初は仙台を目指していたんですが、取引先から郡山にある工場を紹介され、仙台に行く途中で見に行ったのがきっかけなんです。福島工場内には、2014年、阿武隈川流域の木材を使



バンコクにほど近いノンタブリー県にあるタイ・ショールーム



福島県石川郡平田村にある福島工場

った緑正館というコミュニケーションセンターを建て、これは緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰をいただきました。

「これから日本はどんどん人口が減っていきますから、物流を効率化する御社の役割はますます大きくなります。」

**新井** 私が大学生を採用する時にいつも言っているのが、ペーパーレスになっても「モノレス」にはならないから安心して入ってきてほしい、と。トラックにおいては東西両工場を持って生産しているのは当社だけだし、全国に拠点を持っていて、営業も施工も設計も、メンテナンスも全部一貫してやっているのがわれわれの強みです。だから、モノがある以上、当社は未来永劫（えいごう）続くということ、「百年企業」をスローガンにしています。

「ホームページの社長インタビューに「未来の300億円企業を目指して」とありますが。」

**新井** 平成の最後の年に過去を振り返って、昭和39年に創業し、昭和の25年間で100億企業になった。平成に入って福島に進出して東西両工場を持ち、平成の30年間で200億企業になった。それから、令和に入ったらもう100億だということ、300億企業をばんと打ち出したんです。当社はラックというハードでは国内トップでも、物流管理システムな



りそな総合研究所  
代表取締役社長 米谷高史

どのソフトでは競合他社に及ばない。ここを伸ばせば300億企業は達成できると言ったら、社員は、「ああ、そうだな」と。

**首都圏におけるプレゼンスを高めるため  
新たに東京支社の建物を購入。  
モチベーションアップで業績も向上**

「社長になられてからのご決断で、思い出に残っているものはございますか。」

**新井** 直近のところでは、東京支社のビルの購入ですね。金額が金額ですから、本当にすごい大決断でした。これは、りそなさんにも応援をいただいていたことになりました。

「ありがとうございます。」

**新井** これをやったことが、前期の281億という数字にもつながったと思います。新しいビルに移ることによってみんなの心がものすごく前向きになり、なかなか超えられなかった東京支社の100億という売り上げが実現しまし



た。それと、厳しい採用戦線で人材が採れているのも新しいビルのおかげだと思います。

りそなさんといえば、中小企業振興財団から奨励賞をいただいた水平流動ラック「ライブストレージ」、低風量型給気システム「エコプッシュ」も順調に成長しており感謝しております。

**完全水耕栽培の植物工場にめど。  
ラックでは日本最大の生産能力を維持し、  
ソフト力の強化で物流の革新を目指す**

—— 御社は、スチールラックの技術を活用した植物工場も展開されています。

**新井** はい。植物工場事業はもう10年以上やっています。3年前から大阪大学、近畿大学との共同研究で「ヒロハセネガ」という鎮咳去痰作用のある薬草の完全水耕栽培の研究を始め、昨年7月世界で初めて出荷にこぎ着けました。また、植物工場システムの開発と販売も行っており、ひいては、日本の食料自給率の改善に貢献できればと思っています。

—— 今年創業60周年を迎えられますが、将来どんな会社になりたいとお考えですか。

**新井** まず、製造能力を絶対に落とすことなく、磨きに磨いて、日本で一番ラック製造能力のある会社の地位を保ち続けていくことです。



植物工場事業では、設備・資材の提供だけでなく栽培指導や販売までサポート



大阪府泉北郡忠岡町にある本社工場

端的な例で言えば、福島工場の棚板製造ラインは現在4ラインあるんですけども、自動化が進んだ現在これを3人で担当し、出来上がった棚も、無人フォークリフトで自動倉庫に入れていきます。将来は、今、一番人手がかかっている塗装ラインにロボットを導入して、社員の負担を軽くできればと思っています。

販売面では、ソフト力を高めること。在庫管理システムとかピッキングシステム、デジタルアソートシステムなどを、しっかりと営業マンが提案して売れるようにしていく。そうした流れで、日本の倉庫の効率を高めて、在庫欠品も賞味期限切れも発生しない物流を実現したいと考えています。

—— 期待しております。本当に楽しいお話をありがとうございました。

## PROFILE

- 創業 1964年(昭和39)11月
- 設立 1967年(昭和42)4月
- 資本金 38百万円
- 従業員数 656名
- 事業内容 スチールラック、移動ラック、実験研究設備、立体駐車場等各種システムの設計開発・製造・販売、植物工場設備の設計開発・研究・販売
- 所在地 〒595-0814  
大阪府泉北郡忠岡町新浜2-5-20  
TEL 072-436-0251  
FAX 072-436-0259  
URL <https://www.sanshinkinzo.co.jp>
- 取引店 りそな銀行泉大津支店

## interview後記

老子の「上善如水」という言葉があります。最上の善とは水のようなもの。万物に恵みを与えながら、他とは争わず、自らは低い位置に身を置く。新井社長はまさに「水」のような方。ブルース・リーも「Be Water」と言っていますが、煩惱に打ち克てない自分を反省。(米谷)